

立川市教育だより

たっち

●今号の主な内容

- 2面 … 令和3年度教育委員会表彰
- 3面 … 新学校給食共同調理場の整備／オストメイト展の交流
- 4面 … 立川教育フォーラム開催／立川市の歴史と文化財

編集・発行／立川市教育委員会
 〒190-8666 立川市泉町1156-9
 ☎042(523)2111(市役所代表)
 立川市ホームページ
<http://www.city.tachikawa.lg.jp/>



たっちの発行は年3回です。次号の発行は令和4年6月10日です。



立川市民科で

学校も地域も元気に!!



図指導課・内線2499



Q1

立川市民科って?

A 立川市民科は、よりよい社会の担い手たる市民を育成する学習です。身近な地域を探究的に学ぶことを通じて児童・生徒の地域を大切にする思いを育み、優れた伝統の継承や新たな未来をひらいていける力を育てます。



Q2

探究的な学習って?

A 与えられた問題を解くのではなく、「自ら学び自ら考える力」を育てる学習です。例えば、地域に関する課題を見付ける力、課題を解決するために地域で情報等を集めて分析する力、課題を解決するための具体的な行動を取る力を育てるのが探究的な学習です。



南砂小学校 第5学年

[レットライ農業]

立川市の自然や農業について学習し、より安全でおいしい野菜作りにトライしました。



西砂小学校 第5学年

[西砂シビックプライド]

まち探検を通して西砂町の良さや課題を見だし、よりよいまちにするために、学習内容の発表と改善案の提案を行いました。



第四小学校 第4学年

[自然大好き(多摩川へ行こう)]

身近にある多摩川について地域の方から学び、まちと川との関わり方について考え、発表しました。



Q3

学校が元気になるって?

A 子どもたちは、さまざまな教科で学んだ知識や技能を使って、自分たちの住んでいる地域を調べたり、地域の方々からお話を伺ったりして、自分たちで学びを組み立てていきます。題材が身近な地域なので興味を持って楽しく学習しています。その学習の成果を教科の学習や学習発表会の場で広げていきます。

立川第六中学校 第1学年

[立川めぐり]

立川の歴史や産業について調べ、その特色や課題を見だし、まとめ、保護者や地域の方、企業の方に発表しました。



Q4

地域が元気になるって?

A 本市の小・中学校は、多くの地域の方々に支えられ、応援をいただいております。特に立川市民科は、地域に根ざした学習です。地域の方々から学んだことは、子どもたちの学習発表会などで発信しています。その関わりの中で、大人も地域の素晴らしさを再発見し、活動するきっかけになっています。